

脊椎・脊髄疾患治療の最前線

脳神経外科医が手掛ける、体に負担の少ない低侵襲手術とは

頭痛や肩凝り、腰痛や手足のしびれなどを感じても「年だからしょうがない」と我慢しているとしたらそれらの症状は、脊椎脊髄神経(背骨とそこにある神経)の異常による可能性がある。今回は年間300例以上の脊椎脊髄疾患の手術を手掛ける新百合ヶ丘総合病院脊椎脊髄外科部長 低侵襲脊髄手術センター長の水野順一医師に最新の治療法について語ってもらった。||文中敬称略||

「形ではなく「機能」の回復を目指す

一般的に脊椎脊髄疾患は整形外科の領域と思われがちですが、脳神経外科による治療にはどのような特徴があるのでしょうか?

水野 簡単というと整形外科は主に骨を治療対象にしており、骨の形状を元に戻すことを目標に治療を行います。一方、脳神経外科の治療対象は神経で、傷んだ神経の機能回復を目標に治療を行います。加齢等によって背骨の形が変化するのは

当然のことですから、これにこだわることなく、あくまでも神経の機能回復を最優先しよう

というのが脳神経外科の治療方針。針、糸でむしる脳神経外科による治療のほうが一般的です。

— 具体的にどのような治療があるのですか?

水野 治療の前に正しい診断を受けることが何よりも大切です。当院では、脳神経外科の専門医がMRIやCT、レントゲン等から得られる画像と神経学的所見から総合的に病状を診断患者さん本人の希望を

お聞きした上で適切な治療法を提案します。一般的には安静を保ちながら投薬による鎮痛を行い、必要に応じてマッサージや低周波治療を施します。それでも症状が改善しない場合は手術を行います。当院では脳神経外科医が最新の医療機器を用いて「低侵襲手術」を行っています。

— 低侵襲手術のメリットは何ですか?

水野 顕微鏡や内視鏡を駆使して手術を行うので最小限の切開で済み、筋肉や骨の損傷を抑えられることです。一般的な手術に比べて患者さんの体への負担が少なく、入院やリハビリの期間も短くて済むので、早く日常生活に復帰できるケースが多いですね。ただし、手術の成功

||治療の成功では決してありません。病院を受診する際は、術後に適切なケアやリハビリを受けるのか否かを確認するようにしましょう。

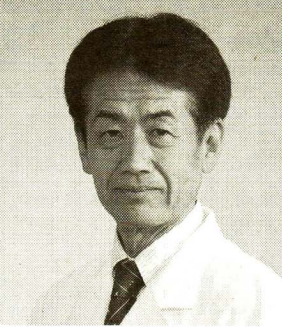
「チーム医療」で治療の効果を最大限に

— 先生がセンター長を務める低侵襲脊髄手術センターでは、どのような体制で治療に当たっていますか?

水野 当センターでは「チーム医療」に力を入れています。チーム医療とは医師だけでなく看護師や作業療法士など患者さんに関わるすべての医療スタッフが対等な立場で連携してチームを作り、各自の専門性を発揮することで、より質の高い治療やケアを提供する体制のこと。当センターでは脊椎脊髄疾患に詳しいスタッフがチーム一丸となって患者さん中心の治療やケアを行っています。例えば術後の患者さんの症状に変化が生じた場合も、専門知識のあるスタッフはそうでないスタッフに比べて変化に気づくのが早いため、大事に至る前に処置できる可能性が高くなります。

— 受診を迷っている方へのアドバイスをお願いします。

水野 治療のタイミングを逃すと、神経の機能の回復は難しくなってしまいます。まだ症状が軽い段階であれば治療の選択肢も多いため、低侵襲手術など体への負担が軽い治療法を選ぶことも可能です。痛みや違和感が3週間以上続いたら、早めに医師に相談するようにしてください。



【水野 順一 医師】

院長 脳神経外科
副院長 脊髄外科
部長 脊髄外科
部長 脊髄外科
部長 脊髄外科